

第3章 みまたの景観まちづくりのテーマ

(景観形成の基本理念)

本町には、まちの歴史や風格が感じられる集落景観や豊かな田園と美しい川、雄大な霧島山が織りなす自然景観、城跡やめがね橋などの文化財、低層でゆったりとした住宅地など町民に愛される景観がたくさんあります。

また、旧薩摩藩領の夏の風物詩である六月灯、盆まつりなどの地域が主体となった行事、棒踊り、ジャンカン馬踊りなどの郷土芸能も継承され、地域の生業や暮らしと一体となって息づいています。

今、みまたに暮らす町民や地域に愛されている“魅力＝たから”を町民と地域が次の世代にも引き継いでいきたいとおもう景観として、町民・事業者と行政が一体となって保全・創出することを基本とします。

みまたの景観まちづくりのテーマ



めぐみ ⇒ 本町の花、緑、水など豊かな自然

くらし ⇒ 歴史、郷土芸能、伝統行事、なりわい、生活スタイル、まちなみ

織りなす ⇒ 点や線である資源を“ひと”が織りなす(まちづくり)ことで面となること

はあと ⇒ 今ある「めぐみ」と「くらし」によって、町民や地域に愛される(はあと溢れる)

みまたらしい景観を未来へと結びたいとの意を込めた。

ロゴは、ハートの形に似る本町の地形をモチーフに平成28年度に「ドキドキみまた」のフレーズとともに作成。「花と緑と水のまち」にちなみ、春を彩る花々や緑深い山々、沖水川の清流など、豊かな自然の恵みが散りばめられている。